

## 事業中評価チェックリスト

番号

1

路線・ 河川・地区等名	一般国道458号 もともあひかい 本合海バイパス工区	事業名	道路改築事業			施行 場所	大蔵村 もともあひかい しみず 本合海～清水																								
事業中評価の対象となる事由 (評価を実施する時期)		事業中評価実施後5年を経過した時点での継続中の事業 (山形県(県土整備部)公共事業評価実施要領5-(1)-イ-(エ))																													
事業採択年度 目標年度 [当初目標年度] (過年度評価時目標)	H7 H35 [H24] (H31)	総事業費	113.0億円	進捗度	90.0%	事業主体	山形県																								
		内工事費	58.3億円	進捗度	83.2%	供用延長等	1,730m																								
		内用地費	40.4億円	進捗度	99.5%																										
<p>事業の概要(主要工事内容、地域性・特質性、事業目的)</p> <p>・一般国道458号は大蔵村においては重要な生活道路であり、かつ、肘折温泉へ通じる観光道路でもある。また、地域高規格道路「新庄古口道路」の升形ICへのアクセス道路として、最上地区における広域的な道路ネットワークの一部としても機能する重要な路線である。しかしながら、本事業区間は、車道(橋梁)幅員が狭く、道路線形が悪いために車両の走行速度が低く、ICアクセス道路としては脆弱であるほか、歩道も無いことから、歩行者が危険な状況にある。さらに、旧大蔵橋(昭和6年架橋)は、老朽化が著しく、早急な架け替えが必要とされている。よって、本事業において、狭く老朽化した大蔵橋を架け替え、橋梁前後の線形不良箇所を解消するほか、歩道の設置により歩行者の安全と円滑な交通を確保するものである。</p> <p>・事業延長2.830m 計画幅員6.5(9.5)[12.0]m</p>																															
<p>事業の実施状況</p> <p>・H7 路線測量・道路設計 H18 第I期区間部分供用(延長750m) H26～H30 埋蔵文化財調査</p> <p>・H8 用地買収着手 H22 第II期区間部分供用(延長980m) H30 工事推進</p> <p>・H9 工事着手 H25 用地買収完了</p>																															
<p>上位計画、その他事業との関係(各上位計画で定めている項目を表すコード)</p> <p>・第3次山形県総合発展計画 → 交通・通信ネットワークの整備(Ⅱ-3-(2)-②)</p> <p>・やまがた「県土未来図」推進指針 → 産業を支え、活力と魅力ある県土づくり(2-1-①)</p> <p>・山形県道路中期計画 → 生活幹線道路ネットワークの整備推進(2-4)</p>																															
<p>今後の事業の見通し</p> <p>・平成25年度に用地取得が完了しており、今後も工事を推進しH35年度中の全線供用を目指す。</p>																															
<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>① □国、県の政策や計画の転換等 平成22年3月:「第3次山形県総合発展計画」策定 平成22年3月:「山形県道路中期計画」策定(平成26年3月改訂) 平成24年3月:「やまがた県土未来図」推進指針改定 ・上記計画に位置づけられた施策や方針に基づき取り組む事業として推進している。</p> <p>② 財政状況の変化 道路整備の事業費が減少している厳しい状況にあるが、「選択と集中」及び「効率的効果的」な執行により投資効果の早期発現を図ることとしている。</p> <p>③ 事業実施地域の周辺環境の変化 平成26年から続いた上竹野遺跡埋蔵文化財調査が完了することから、速やかに現場での工事に着手する。</p> <p>④ 地元の協力体制の変化 H25年度に用地取得が完了しており、地元の協力体制は良好である。</p> <p>⑤ 利用者見込み者数の大幅な変化 特になし</p> <p>⑥ 代替方策による必要性の変化 特になし</p> <p>⑦ その他 特になし</p>																															
<p>事業の投資効果(凡例) ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果</p> <table border="1"> <tr> <td>投資効果</td> <td colspan="7">● バイパス整備により走行時間が短縮され、走行経費の低減が期待できる。 ○ バイパス整備により生活道路から通過交通が排除され、地域住民の安全性向上が図られる。 ○ 歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.0</td> <td>B/Cの代表的 な分析指標</td> <td>(B)走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少 (C)事業費・維持管理費</td> <td>162.6億円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>161.3億円</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>								投資効果	● バイパス整備により走行時間が短縮され、走行経費の低減が期待できる。 ○ バイパス整備により生活道路から通過交通が排除され、地域住民の安全性向上が図られる。 ○ 歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。							B/C	1.0	B/Cの代表的 な分析指標	(B)走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少 (C)事業費・維持管理費	162.6億円								161.3億円			
投資効果	● バイパス整備により走行時間が短縮され、走行経費の低減が期待できる。 ○ バイパス整備により生活道路から通過交通が排除され、地域住民の安全性向上が図られる。 ○ 歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。																														
B/C	1.0	B/Cの代表的 な分析指標	(B)走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少 (C)事業費・維持管理費	162.6億円																											
				161.3億円																											
<p>コスト縮減・代替案等の可能性</p> <p>・H25年度に用地取得が完了しており、代替案はない。</p>																															
<p>当初又は前回評価時目標年より延長となる場合の理由</p> <p>・上竹野地区の埋蔵文化財調査による工事着手の遅れ、及び軟弱地盤対策工事の拡大による遅延</p>																															
総合評価 ()過年度評価	継b(i) (継b(i))	総合評価 の理由	計画から4年の遅れとなるが、事業の効果や重要性、地域の期待・協力を総合的に判断し、継続としたい。																												